

## 2021年 奈良市観光入込客数について

### 1. 概要

2021年に奈良市を訪れた観光客数は、734.9万人（前年比1.5%増）でした。

一般観光客数は、709.1万人（前年比4.6%増）でした。このうち、日帰り客数が627.6万人（前年比4.4%増）、宿泊客数が81.5万人（前年比5.8%増）となりました。

修学旅行で奈良市を訪れた観光客数は、25.8万人（前年比48.3%増）でした。このうち、日帰り客数が21.5万人（前年比59.3%増）、宿泊客数が4.3万人（前年比10.3%増）となりました。

奈良市を訪れた外国人観光客数は、新型コロナウイルス感染症拡大による入国制限の影響で、推計に必要な調査が行われなかったため、日帰り客数および合計を測定不可としました。宿泊客数は0.6万人（前年比83.8%減）でした。

表1 奈良市観光入込客数

単位：万人

	2019	2020	2021	前年比	【参考】	
					増減率 (%)	対2019年比 増減率 (%)
宿泊客	173.8	84.6	86.4	+1.8	+2.1	-50.3
一般	120.1	77.0	81.5	+4.5	+5.8	-32.1
修学旅行	9.4	3.9	4.3	+0.4	+10.3	-54.3
外国人	44.3	3.7	0.6	-3.1	-83.8	-98.6
日帰り客	1,567.3	639.6	648.5	+8.9	+1.4	-58.6
一般	1,206.9	600.9	627.6	+26.7	+4.4	-48.0
修学旅行	72.9	13.5	21.5	+8.0	+59.3	-70.5
外国人 <sup>注2</sup>	287.5	25.2	-	-	-	-
合計	1,741.1	724.2	734.9	+10.7	+1.5	-57.8
一般	1,327.0	677.9	709.1	+31.2	+4.6	-46.6
修学旅行	82.3	17.4	25.8	+8.4	+48.3	-68.7
外国人 <sup>注2</sup>	331.8	28.9	-	-	-	-

注1： 集計結果については、四捨五入の関係で積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しない。

注2： 2021年の外国人（合計・日帰り）は、新型コロナウイルス感染症拡大による入国制限の影響で推計に必要な調査が行われなかったため、測定不可「-」とした。また、全体/一般の日帰り客および全体/一般の合計には、測定不可とした外国人観光客が含まれている。

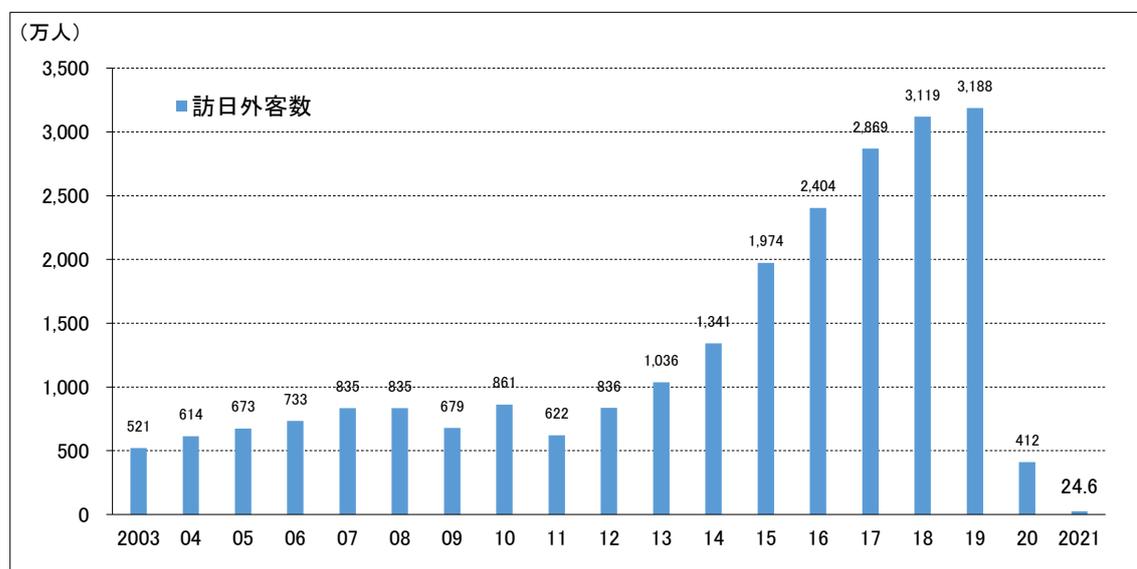
## 2. 2021年 観光の状況

### (1) 2021年における全国の観光の概況

2020年に世界へ拡大した新型コロナウイルス感染症は、2021年になっても収束せず、世界各国では厳しい渡航・入国制限が継続して行われました。国連世界観光機関（UNWTO）の発表によると、ワクチン接種の普及等により、多くの観光専門家が2022年の見通しは良くなると予測する一方、特にアジア太平洋地域において、国際観光客到着数が2019年の水準に戻るのには2024年以降になると予測しています。

また、日本政府観光局（JNTO）の発表によると、2021年の訪日外客数は約24.6万人と、日本政府観光局が訪日外客数の公表を開始した1964年以来最低の人数となりました。2020年東京オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会が2021年に開催されたものの、ほぼ全ての競技が無観客での実施となりました。

図1 全国の訪日外客数の推移



出典：日本政府観光局（JNTO）資料をもとに奈良市作成

国内旅行は、観光庁の「旅行・観光消費動向調査」によると、2021年の日本人国内延べ旅行者数が2億6,821万人（2019年比54.3%減、2020年比8.6%減）と、コロナ禍の観光の厳しい状況が反映される結果となりました。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が断続的に発令される中、居住地の近場を少人数で観光するマイクロツーリズムや、出張先で働きながら休暇を楽しむワーケーション※1など、新たな旅のスタイルの普及や定着への取り組みが進められています。

※1 ワーケーション：Work（仕事）と Vacation（休暇）を組み合わせた合成語。普段の職場とは異なる場所で働きながら休暇取得を行うこと。あるいは休暇と併用し、旅先で業務を組み合わせる滞在のこと。（JTB総合研究所「観光用語集」より）

(2) 奈良市の観光客数（全体）

2021年の奈良市の観光客数は734.9万人（前年比1.5%増）でした。

新型コロナウイルス感染症拡大や入国制限措置等の影響により厳しい状況が続く中で、近隣府県の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されていない時期（3月や10月から12月）に国内旅行者が一時的に回復したことや、感染症対策を行った上で観光を楽しむ意識が国内に徐々に浸透してきたことから、一般観光客数が709.1万人（前年比4.6%増）、修学旅行生徒数が25.8万人（前年比48.3%増）となりました。

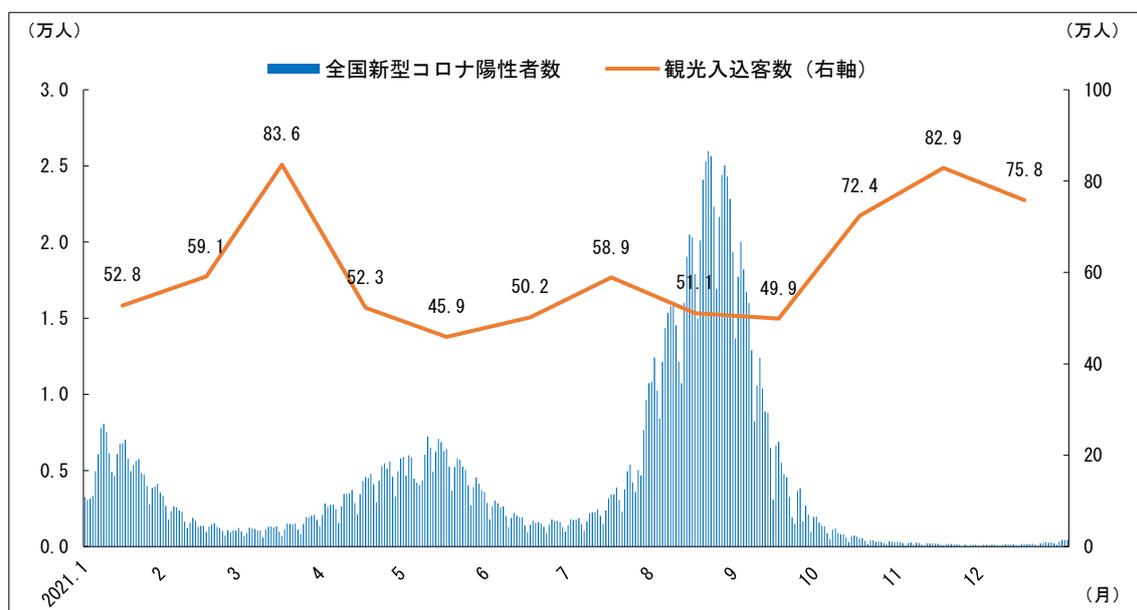
表2 月別奈良市観光入込客数

（単位：万人）

	観光客数	対前年比		対2019年比			
		対前年比	対2019年比	対前年比	対2019年比		
1月	52.8	-57.1%	-58.3%	7月	58.9	+21.7%	-51.9%
2月	59.1	-22.2%	-49.2%	8月	51.1	±0.0%	-61.7%
3月	83.6	+14.5%	-51.6%	9月	49.9	-12.9%	-60.6%
4月	52.3	+112.6%	-65.6%	10月	72.4	+3.7%	-53.4%
5月	45.9	+98.7%	-74.7%	11月	82.9	+5.1%	-54.2%
6月	50.2	+17.3%	-64.9%	12月	75.8	+35.4%	-41.5%

注：集計結果については、四捨五入の関係で積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しない。

図2 全国新型コロナ新規陽性者数と月別奈良市観光入込客数の推移（2021年1月～12月）



出典：厚生労働省「新規陽性者数の推移（日別）」をもとに奈良市作成

(3) 奈良市の外国人観光客数（宿泊客数）

2021年に奈良市内の宿泊施設に宿泊した外国人観光客数は、0.6万人でした。（前年比83.8%減）2020年2月から続く厳しい入国制限の影響により、1年を通じて外国人旅行者の訪問はほとんどなかったと考えられます。10月以降はビジネス客の一部入国緩和等の影響により、前年に比べわずかに増加しました。

図3 奈良市外国人観光客月別延べ宿泊者数

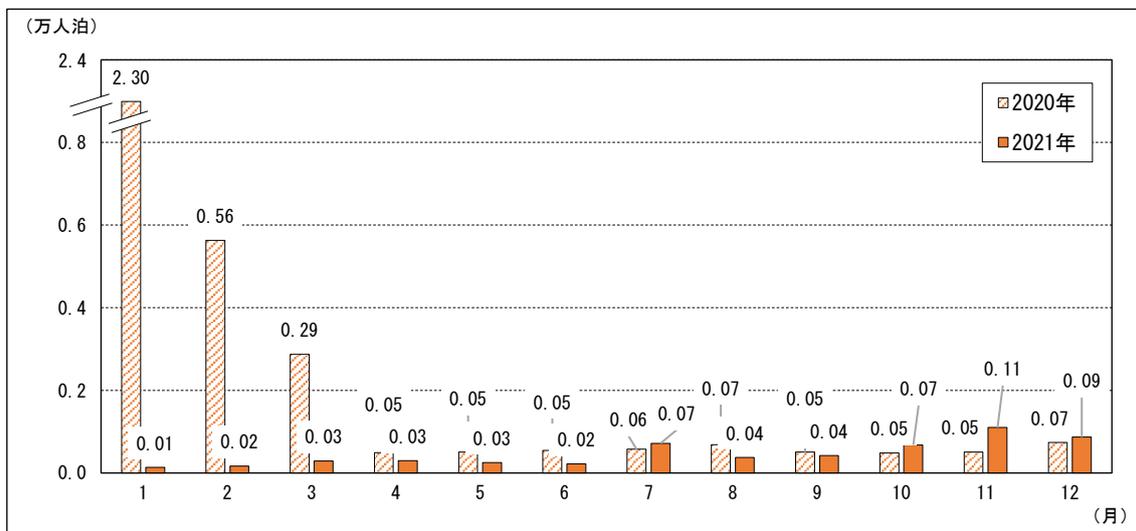
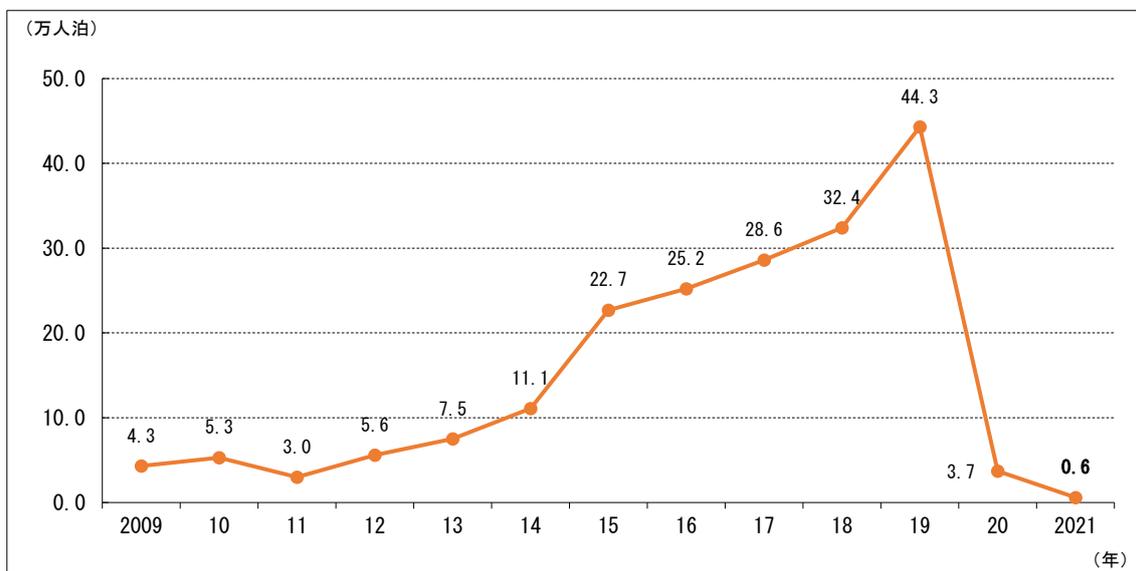


図4 奈良市の外国人宿泊客数の推移（2009年～2021年）



(4) 修学旅行

2021年に奈良市を訪れた修学旅行生徒数は、25.8万人（前年比48.3%増）と、2020年に比べてやや回復しました。月別の宿泊修学旅行生徒数を各年で比較しますと、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が首都圏を中心に断続的に発令された影響により、例年多くの修学旅行生が訪れる4月～6月に修学旅行の延期やキャンセルが発生しましたが、緊急事態宣言が解除された10月以降は増加しました。

奈良市では、2020年度に引き続き新型コロナ対策に追加費用が発生した学校を支援する「奈良市修学旅行生『奈良旅行』支援事業」を実施し、246校 16,343人の修学旅行生へ支援金を支給するとともに、修学旅行が中止になった90校 8,967人へ奈良土産を送りました。

図5 月別奈良市宿泊修学旅行生徒数（2019年～2021年）

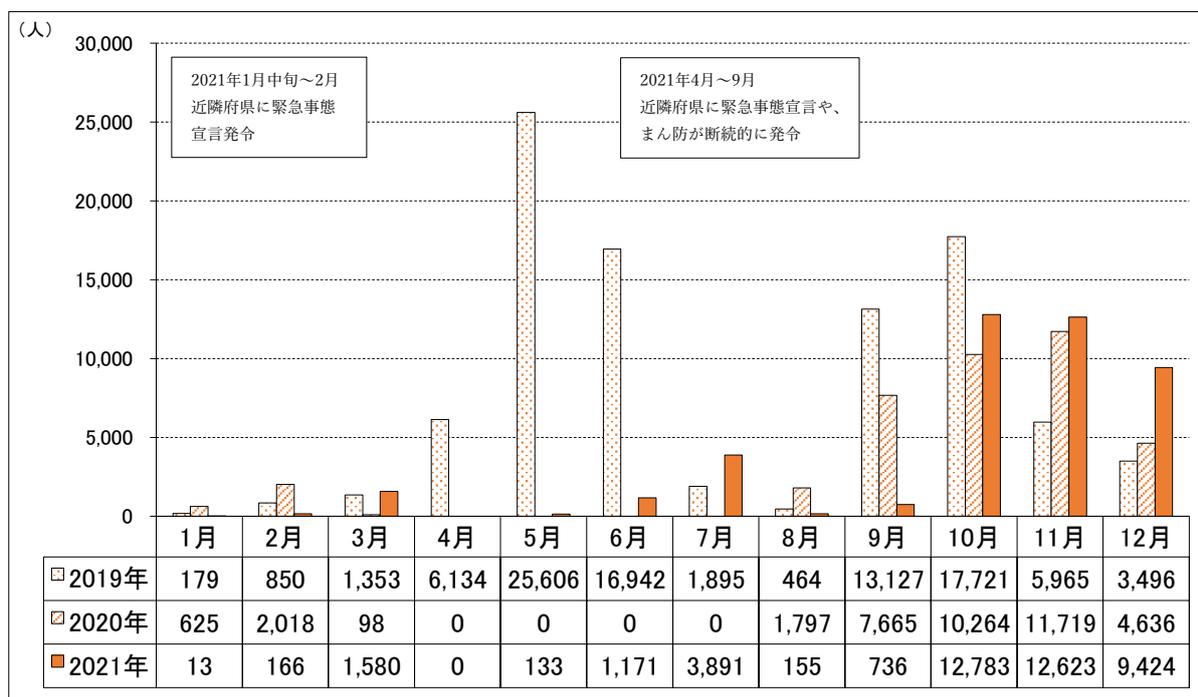
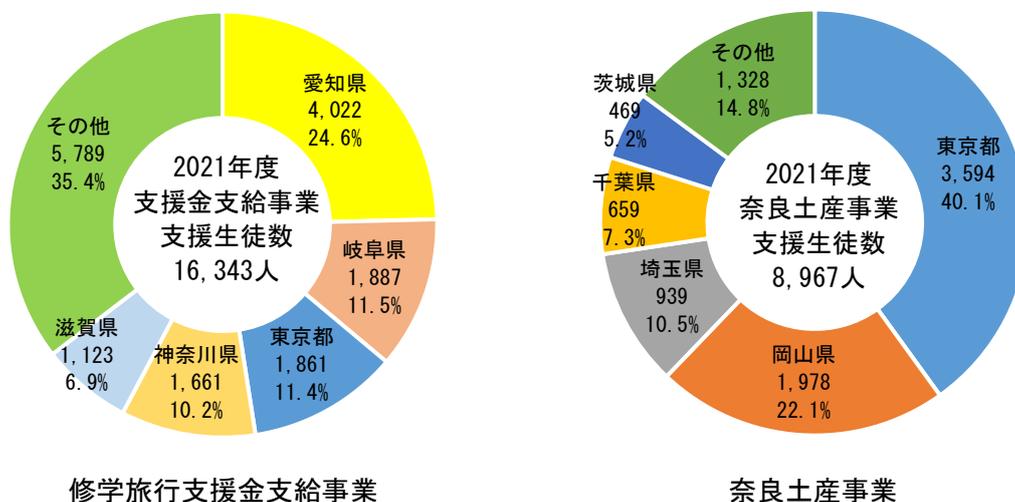


図6 2021年度「奈良旅行」支援事業 都道府県別割合



[参考 1] 奈良市内の観光消費額

「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき奈良県が実施した調査結果によると、2020年の奈良県における1人あたりの観光消費額は、宿泊が23,211円、日帰りが3,217円となっています。

上記1人あたりの観光消費額に、奈良市の2021年の観光入込客数を乗じて奈良市の観光消費額を推計すると、409.1億円（前年比6.9億円増）となります。

表3 奈良市内の観光消費額（全体）

	観光消費単価 (奈良県 2020 年値) 円/人	観光入込客数 (奈良市 2021 年値) 万人	観光消費額		
			億円	前年比	
				億円	%
宿泊客	23,211	86.4	200.5	4.1	2.0
日帰り客	3,217	648.5	208.6	2.8	1.4
合計			409.1	6.9	1.7

表4 奈良市内の観光消費額（うち外国人）

	外国人観光消費単価 (奈良県 2020 年値) 円/人	外国人観光入込客数 (奈良市 2021 年値) 万人	観光消費額		
			億円	前年比	
				億円	%
宿泊客	37,722	0.6	2.3	-11.7	-83.6
日帰り客	6,368	-	-	-	-
合計			-	-	-

注：外国人（合計・日帰り）は、新型コロナウイルス感染症拡大による入国制限の影響で推計に必要な調査が行われなかったため、推計不可「-」とした。

## [トピックス] コロナ禍における新しいコンテンツ造成について

新型コロナウイルス感染症の拡大により、旅行のスタイルも「密回避」「近距離」「少人数」「持続可能」といった視点が重視されるようになりました。そのような観光客の新たなニーズに対応するため、2021年に実施した奈良市の新たな取り組みを2つ紹介します。

### (1) 県内4都市をつなぐサイクリングイベントの開催

県内4市町村（奈良市、田原本町、明日香村、吉野町）にて、サイクリングイベントを開催しました。

名称：ライドアラウンド in なら

(奈良市・田原本町・明日香村・吉野町)

期間：2021年11月1日(月)～11月30日(火)

参加費：無料 ※参加人数制限なし

内容：

- ① スマートフォンで専用アプリをダウンロードし、エントリーする。
- ② 4都市内100スポットの中からスポットを選び、自転車で向かう。
- ③ 選んだスポットに到着したらチェックインし、ポイントを獲得。
- ④ 獲得したポイントは地域産品の特典と交換できる。また、総獲得ポイントのランキング上位者は、副賞を獲得できる。

エントリー数：283（うち奈良県内からのエントリー 92.4%）

スポット数：100（各都市25スポット）

総チェックイン数：4,440回



ライドアラウンド in ならパンフレット

コロナの状況を鑑み、奈良県民を主な対象として開催した本イベントは、1ヵ月間の開催期間中に283のエントリーがありました。また、参加者へのアンケートには、「これまで行ったことのなかった奈良の観光スポットに行くことができた」「気軽に参加できてよかった」といった感想が寄せられました。

これまでのサイクルイベントは、スタートやゴール地点に人が集中する（密になる）、雨天荒天時は延期や中止になるといった課題や欠点がありましたが、期間中であればいつでもどこからでも自由に参加できる新しい形態のイベントは、ウイズコロナの新しい観光コンテンツとして期待されます。

### (2) 新たな観光コンテンツの造成

新しい観光スタイルの普及・定着への取り組みに加え、コロナ前から奈良市観光の課題であった滞在時間の延長や宿泊の促進を目的に、2021年10月、奈良市観光コンテンツ造成補助事業を実施し、12事業者の観光コンテンツ造成を補助しました。

表 5 採択事業一覧（申請者名/五十音順）

	事業名	コンテンツの概要	実績（R3 年度末時点）
1	ココ・デ・テアトルー演劇と泊まるー	奈良町の宿泊施設を舞台とした”泊まれる演劇”＝没入体験型演劇の上演	予約 76 名（本編予約人数 57 名、本編+夜編 19 名）
2	”～古来から未来へ～漢方・薬草・健康の歴史文化の発祥地奈良ウェルネスツーリズム”	『今使える健康美容の知恵やものごと』、『未来につながる土地と人との取り組み』を伝える着地型ウェルネスツーリズム	参加人数 17 名、参加者の 80%以上が関東地方からの参加
3	新しい奈良酒の飲み方「奈良しゅわボール」	奈良県産日本酒を炭酸飲料などで割る「奈良しゅわボール」と奈良県産ブランドイチゴの古都華（ことか）とのコラボレーションによる新しい飲み方の提案	令和 4 年 1 月～2 月 奈良しゅわボールフェア開催（参加店舗数：飲食店 113、宿泊施設 14）
4	「もくたび×歴史小説」聖地巡礼ツーリズム	興福寺中金堂再建落慶記念作品「龍華記」のボイスドラマ制作および物語の世界である奈良町を巡るスマホコンテンツの開発	ボイスドラマ全 6 話を YouTube で無料公開（再生回数 約 5,000 回以上） 聖地巡礼マップ作成（10,000 部）
5	平城宮跡熱気球搭乗体験	平城宮跡歴史公園で熱気球を飛ばし、上空から広大な平城宮跡の光景を体感	令和 4 年 2 月 11 日～13 日に実施。 チケット販売開始後、3 日間で 315 名分が完売
6	奈良クリエイティブパケーション創出事業	奈良町の宿泊施設に長期滞在し、都市部にはない奈良町の日常を体験。宿泊者の創造力を刺激する時間・体験を提供する。	インフルエンサーによるモニター宿泊（約 4 万いいね）、雑誌掲載、特設 Web サイトとマップの作成
7	奈良市 まちなかワーケーション開発事業	奈良町でのワーケーションに、地域資源を生かした体験プログラムを付加。リモートワーカーやテレワーク層をターゲットにアイデアが交流する場の提供。	地域事業者向けトークイベントの開催（参加人数 15 名） アンバサダーとして全国から 13 名を招き、まちなかワーケーション磨き上げ
8	千年の森の隠れ家で過ごす、長時間滞在型の食・文化・光・音楽コンテンツ事業	旬の地元食材を使った料理の提供と、施設内スペースを活用した奈良の四季をテーマとした音楽演奏等のイベントの開催。	令和 4 年 2 月「しあわせ回廊 なら瑠璃絵」と同時期に食イベントを開催（参加者 20 名）
9	1300 年前のならまちを巡る古地図ウォーキング	世界遺産・興福寺と元興寺周辺の 1300 年前の姿を見せる古地図を制作。昔と現在の奈良の姿を比べる街歩きツアーの造成。	ならまち散策ツアーを開催（参加人数 33 名） 古地図を Web 公開（約 1,700 ビュー）
10	再発見！なら町の魅力を深掘り。電動自転車でサイクリングプラン	電気自転車でめぐるサイクリングルートの構築。観光地以外の、奈良町周辺の魅力ある地元を巡るサイクリングマップの制作。	73 名がレンタサイクルを利用 レンタサイクル付き宿泊プランを販売
11	ならまち周遊型消費喚起事業、デジタルスタンプラリーの構築	奈良公園など有名観光地を離れて広域周遊を促す、アプリを活用したデジタルスタンプラリーの実施。	スタンプラリーに 698 名が参加 飲食店 13 店舗、買い物スポット 10 店舗、観光スポット 6 店舗が参加
12	世界水準の「ガストロノミーツーリズム」の造成実証プロジェクト	奈良市の「食産品」「食文化」をテーマに、各専門家を交えたセミナーの開催。およびガストロノミーツーリズム体験ツアーの造成。	奈良の食をテーマに特別講座を開催（参加人数：現地 33 名、オンライン 196 名） モニターツアー実施（参加人数 12 名）

新型コロナウイルス感染症が拡大して約 2 年が経過した 2021 年は、イベント開催に関するコロナ対策ガイドラインの策定など、安心安全な行催事の運営方法が検討・整備されました。こうした既存の行催事・イベントに加えて、コロナ禍で変化した旅行者のニーズに応える新しいコンテンツの造成は、地元の再発見、マイクロツーリズムの増加、渡航制限解除後の訪日外国人旅行者への新たな観光体験の提供など、奈良観光の回復と発展には欠かせない「コト」であり、2022 年度も継続して取り組みます。

[参考 2] 2022 年 1 月～6 月の観光客の動向について (DS.INSIGHT データ)

2021 年 12 月末に減少した新型コロナウイルス感染者数は、新たな変異株の出現により 2022 年 1 月から 2 月にかけて大幅に増加しました。一方、欧州などでは渡航制限が緩和され、国内においても感染症対策を十分に行いながら旅行を楽しむ観光が受け入れられつつあります。

そこで、ビッグデータを用い、2022 年の観光の動向を把握することとしました。

## 1. 使用データ

ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT データ

DS.INSIGHT は、Yahoo! JAPAN が提供するアプリにおいて、位置情報の利用に許諾を得たデータから個人識別情報を取り除き拡大推計したデータです。

### (1) データ集計期間

2020 年 1 月～2022 年 6 月

### (2) データ取得範囲

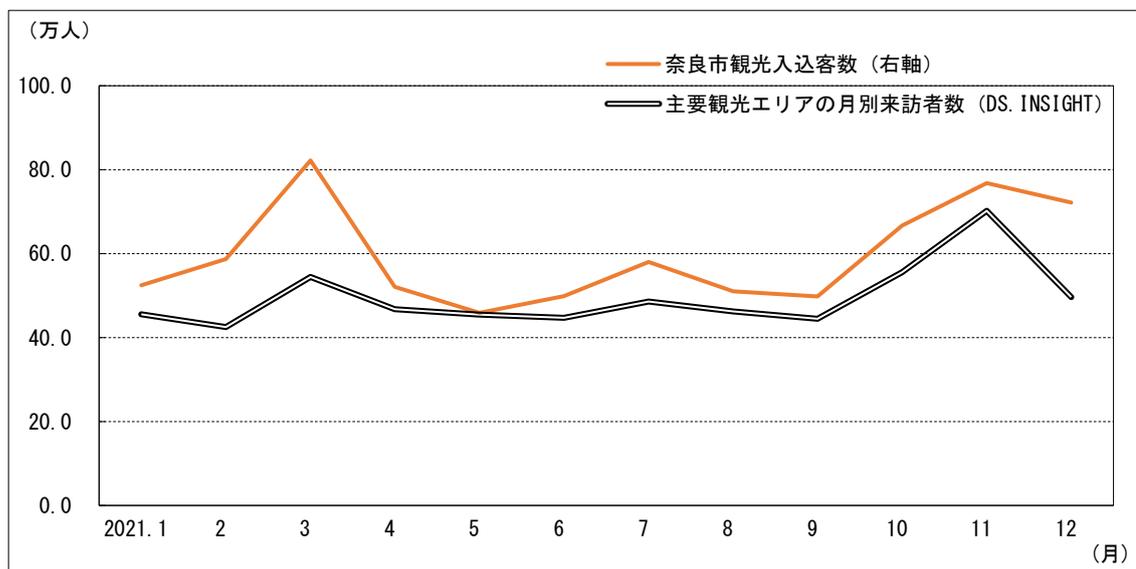
東大寺、奈良公園、奈良町などの市内主要観光エリアを来訪した人（来訪者）を集計。

### (3) 「来訪者」について

来訪者とは、指定エリアを含む市町村以外から来訪し、そのエリアに一定程度滞在した人を示します。

なお、2021 年の DS.INSIGHT のデータと月別奈良市観光入込客数のグラフを比較すると、繁忙期にピークが見られるなど、類似のパターンを示しています。

図 7 奈良市観光入込客数と DS.INSIGHT データの比較



出典：主要観光エリアの月別来訪者数 ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT のデータをもとに奈良市作成

### (4) 外国人観光客について

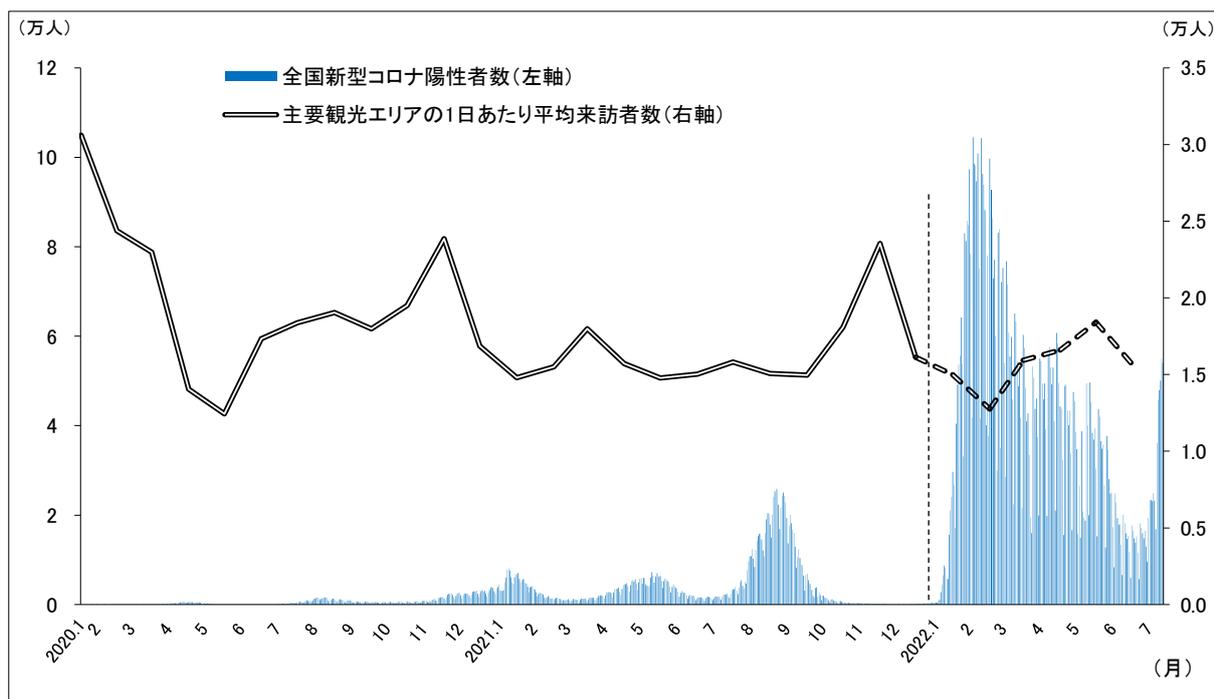
本データには、訪日外国人観光客は含まれていません。

## 2. 結果

2022年1月から2月にかけて、全国の新型コロナ陽性者数は急激に増加し、2月初旬には一日当たりの陽性者数が10万人を超えました。月別来訪者数を見ますと、2022年2月は前年同時期よりも少なくなりましたが、陽性者数が減少に転じた3月以降は、桜のシーズンと重なったこともあり、2021年並みの来訪者数となりました。

収束の見通しが立たないコロナ禍において、ワクチン接種の普及や受け入れ側の感染対策の徹底により、ウイズコロナの観光が浸透してきていると考えられます。

図8 全国新型コロナ陽性者数と来訪者数の推移



出典：厚生労働省 HP(PCR 検査陽性者数)およびヤフー・データソリューション DS.INSIGHT のデータをもとに奈良市作成